

賢太郎 劇場にご招待

KKP # 5 TAKEOFF

2007年11月1日 天王洲・銀河劇場



小林賢太郎が手がける演劇プロデュース公演 KKP（小林賢太郎プロデュースね）が昨年上演した第5弾の再演。

フラミンゴというお笑いコンビのオレンヂとNHKの『ちりとてちん』に出演中の久ヶ沢徹の3人だけのお芝居。800人も入らないホールだったので3階の席でもそれほど見にくいとは感じなかったけど、立ったときはちょっと怖かった。

↓こんな風に入ステージが見える席

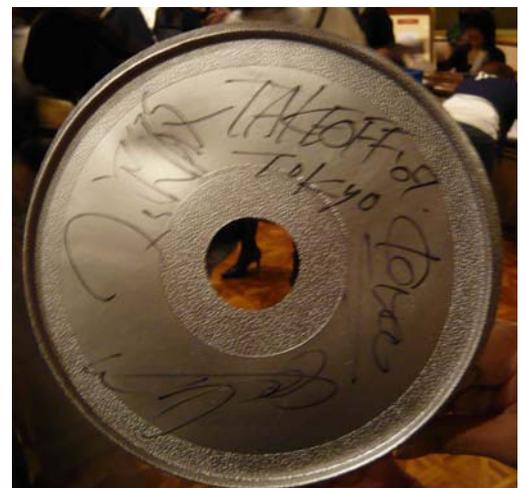


内容は一言で言うと、シノダ、オリベ、アビルの3人の男が出逢って試行錯誤の末に飛行機（フライヤー）を作り飛ばす話。この狭い舞台にフライヤーが飛んだり思っていたより大掛かりな舞台だった。



全編を通して静寂が多いと感じたが、中でも圧巻だったのは、現実のライト兄弟が飛ばした滞空時間を体感した12秒間。たった12秒なのに完全な沈黙は客席にも緊張が漲った。上演時間は1時間45分。カーテンコールになると賢太郎が座っているあたしたちを促して全員スタンディングオベーションでハンドクラップ。この辺は、初めてステージを見たものとしてはついていられないノリだった。

他のKKP公演もDVDで見たけど、やっぱり私はラーメンファン。賢太郎の隣には片桐仁がいないとね。



最後に賢太郎が投げたサイン入りのCD一枚
会場を出てから、受け取った女の子に写真を撮らせてもらった。